

平成20年度 文部科学省 戦略的大学連携支援事業  
読書の秋に贈る 県民と学生のための公開講座  
生演奏とレクチャーで触れる文芸の世界



# 伝説となったマドナたち

イタリア文学・珠玉の名作への誘い

11月3日（水曜・祝日）  
14時開演（13時35分開場）、入場無料  
愛知県立大学、学術文化交流センター、地下多目的ホール

一般の方の参加申し込み先

（往復はがき、Eメール、電話にて、11月1日までにお申し込みください。）

E-mail: [dairan@lib.aichi-pu.ac.jp](mailto:dairan@lib.aichi-pu.ac.jp) 電話：0561-64-1111（内線6130）

〒480-1198 愛知県愛知郡長久手町熊張茨ヶ廻間 1522-3 愛知県立大学学術情報部

大学連携チーム（往復はがきの方は10月25日までに投函してください）

定員30名（大学の授業関連で聴講する学生を除く）

申し込み後にキャンセルされる場合はお手数ですが御連絡願います



講師：西本晃二（東京大学名誉教授） 松蘭斉（愛知学院大学教授） 阪上眞千子（名古屋外国語大学准教授）

水野留規（愛知県立芸術大学准教授） 演奏：愛知県立芸術大学在校生・卒業生・教員、ほか

主催：戦略的大学連携支援事業「イタリア学プログラム実行委員会」

協力：愛知県立芸術大学、名古屋外国語大学、愛知学院大学、愛知県立大学



## 読書の秋、皆さんはどんな本を読もうとされていますか。

来たる11月3日に、イタリア文学の名作についての公開レクチャー&コンサートを、諸大学の先生方や演奏家たちと連携して開催いたします。催しは大学連携によるイタリア文芸セミナーの第2弾で、「神曲の夕べ」（3月31日実施）に続く公開企画です。どなたでも参加でき、無料ですので、どうぞお越しください。

ところで文学の主題といえば恋愛、作者が描き出す美女・美男は、読み手にとっても気になる場所ですね。イタリアの詩人・作家は、巷の読書家たちは、どんな女を、あるいは男を美としたのか、そういったことも日本文化の研究者の方を交えて話し合いたいと思います。今回も講義の合間に朗読と生演奏をお聞きいただき、スクリーンに映し出される映像・画像もご覧にいきましょう。左上の絵に表現されているように、文学と芸術とはそもそも密接にかかわり合っています。

文芸の世界を、そしてイタリアの文化を体感してもらえるならば、出演者・事務局関係者一同幸いです。

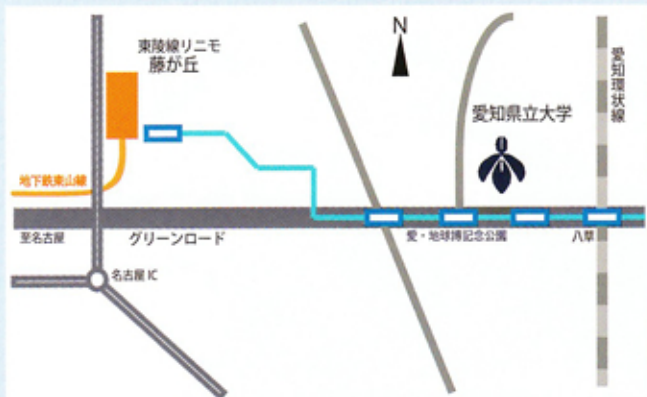
演奏曲： 「ファンタジア・チェレステ」、「カント・ディ・アンジェロ」、「何をしている、何を考えている」、「愛しい花嫁よ」（オペラ『リナルド』より）、「不安と悲しみの後に」（オペラ『タンクレーディ』より）、ほか



絵画と詩歌の擬人像が抱擁しあう



エレオノーラの前で自作の詩を読むタッソ



リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分  
リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約5分  
会場は正面ゲートから入って左手すぐの建物



演奏曲の収録時スナップ

企画・構成： 愛知県立芸術大学（教養教育等、水野留規研究室）  
デザイン： 畠山彩香